

## 西田敏行さん死去の原因 **虚血性心疾患とは**

「釣りバカ日誌」などの映画やテレビ、舞台上で活躍した西田敏行(にしだとしゆき)さんが先月 17 日に死去されました。76 歳でした。ベッドで冷たくなっていたそうです。新聞やテレビで大々的に取り上げられましたからみなさんもお存じのことと思います。死亡原因は後日「虚血性心疾患」と発表されました。

ネットで調べると、

虚血性心疾患とは、心臓の筋肉に送る血管(冠動脈)の病気で、狭心症や心筋梗塞のことを指します。冠動脈が細くなり血液が流れにくくなり、十分な血液を心臓に送れない状態を狭心症といい、冠動脈の一部が詰まってしまい血液が全く流れなくなった状態を心筋梗塞といいます。

主な症状は突然の胸の痛みや重苦しさ・冷や汗・吐気・胃の痛み・肩の痛みやこり・歯の痛みなどです。これらの症状が急に現われて持続する場合は医療機関を受診してください。 ※吐気とは、むかつき、悪心 胃内容物を吐きそうになること

動脈硬化・血栓・冠動脈の痙攣・狭心症・心筋梗塞などは、透析患者の合併症です。重症の場合は上記の症状を軽く考えないで気になる症状があれば循環器内科にかかりましょう。

## 何のため ABI 検査をするか

症状の有無にかかわらず、半年に一回は行われる ABI はなぜ行われるのでしょうか？それは透析患者の典型的な合併症の一つである末梢動脈疾患(PAD といいます)の発見のためです。PAD とは、動脈硬化に起因する動脈の狭窄、閉塞によって末梢の循環器障害となる病気～現在では増加の一途～です。

**透析患者における PAD の症状の特徴**は以下のとおりです。

- ① 膝下より末梢の動脈に病変が多い・・・例えば散歩時に脚の痛みやしびれ
- ② 血液石灰化のため診断や治療が困難
- ③ 上肢にも虚血症状が出現しやすい(スチール症候群)

尿毒症や体液過剰、低栄養、免疫不全などのために傷が治りにくい。

### ABI 検査とは

ABI 検査とは、両手(透析患者はシャントのない右手のみ)両足の血圧 を測り **足と手の血圧を比べる検査**で PAD の最も重要な検査です。

通常の検査基準値は、0.9 以上ですが、透析患者は、1.02 以上が推奨されている。しかし、実際、検査後先生から**問題なしと言われた場合は数値が 0.9 以上**のことが多いようです。0.9 以下だと足が詰まっている可能性が高い。私(大矢)は、6 年前、左脚の数値が 0.77 で鼠径部が完全に狭窄していて、放っておくと足が壊死し、切断の危険性があったため**血管内膜除去術**の手術を行いました。